

2009年9月28日

日本養生学会会員各位

日本養生学会  
ようせいサロン担当  
矢田部 英正

## 第19回「ようせいサロン」のお知らせ

1. 日時：2009年10月10日（土）13時～16時（最大）
2. 会場：東京大学 駒場キャンパス（住所：〒153-8508 東京都目黒区駒場3-8-1-8902）  
アドバンスラボ410（4F）大会議室  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02\\_01\\_34\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_34_j.html)
3. 話題提供者：矢田部英正（武蔵野身体研究所）
4. テーマ：古代アジアの基層文化に関する身体技法論的研究  
～公教育への導入に向けた東洋的身体技法の体育学的検討（試案）
5. 内容（趣旨）

日本養生学会の主要な研究対象である東洋に発祥する諸々の身体技法は、体育・スポーツへの教育的効果に限らず、健康・美容にかんする社会的なニーズの他、歴史や心理、哲学等、隣接する他の学問領域に対しても非常に重要な問題を提起する可能性を秘めています。

今後、学会活動の継続的な発展を積み重ねていくために、学会の独自性を踏まえた研究対象、研究方法等をあらためて整備し直し、一般社会に対しても明確に認知し得るような学問領域となることを目標に、研究計画を立案いたしました。試案段階ではありますが諸先生方のご指南を仰ぎつつ、方向性を確認したいと考えています。

本学会は、大学体育の実践を基盤に置きつつ、近代体育とは別の文脈にある、アジア諸地域の身体技法を学際的に研究する国内有数の団体です。気功・太極拳・ヨーガ・禅・武術・芸道等、本学会にかかわる専門家の実践知には、「身体の本来的自然を開拓する」という意味において根底のところを通じ合える思想を共有しているものと思われまます。

本計画ではそうしたアジアに伝統的な身体技法に広く共通する「技法内容」を具体的に分析し、公教育に導入可能な「技術の範囲」や「専門用語の定義」さらには「眼に見えない技法」を扱う上での教育的倫理や教育効果等を検討していきたいと考えています。またこの計画を具現化する過程で、科学的な測定評価のための仮説を明確化し、隣接する学問領域との位置づけを再確認し、一般社会とも対話の可能な文脈を形成していきたいと考えます。

今回の養生サロンでは、本研究計画をどのように進めていくか、その具体的な方法と、さらに研究協力を要請したい歴史学や社会学の成果等をご紹介したいと考えております。

先生方におかれましてはご多忙の事と存じますが、抽案へのご批判ご指導賜りますよう、お集まり頂ければ幸いです。

- ★ 皆様のご参加をお待ちしております。
- ★ 出席される方は、事前にメールで連絡いただければ幸いです（当日参加も構いません）。

連絡先：矢田部英正（武蔵野身体研究所）

E-mail : [info@corpus.jp](mailto:info@corpus.jp)